

# シリーズ

## 町長室からの便り

うれしい悩み

ここ数年、12月から1月にかけては事務事業評価から新年度予算の編成など、一番悩みが多い期間です。幸いここ数年、町税が増えていることは皆様のおかげであり、非常にうれしいのですが、その分確実に地方交付税の減額で台所事情は予算を許しません。先般、東海財務局が発表した「経済力」では、東海4県176市町村で2位という番付をいただいたものの、「財政力」はそれ程ではないのです。むしろ評価点の高くなった理由である、人口増加率、新規住宅の着工率の増は、町にとって真っ先に幼・保育園、小学校の教室が不足することとなり、まさにやりくりの悩みの種は尽きません。それでも着実に人口は増え、地区まちづくり協議会などを通じて、「子どもの見守り」「公園・環境の整備」など皆様のお力によって、朝日町が元気になってきているのも事実です。

子育て支援、少子化対策にあらん限りの力を注ぐ決意です。

一方、高齢者の方々には本当に申し訳ありませんが、後期高齢者の広域医療制度であらためて保険料もいただくこととなります。制度の内容は広報あさひでも具体的に説明させていただきますが、多くの問題点があり、町としましては健康診査など多くの方々に参加していただき、予防医療に力を注ぎ安心して暮らせるまちづくりを進めますので、ご理解ご協力をお願いします。

また、今年から小さな事ですが自主財源を増やしていくために、広報あさひに有料広告を掲載します。今後、町ホームページや公共施設にも波及して行きたいと思っております。ご理解をお願いします。

そして、今年こそ新しい企業誘致を前進させ、働き場確保にも頑張る所存です。

### 東海財務局が発表した内容

#### 東海財務局が初調査

東海財務局は、東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の176市町村の「経済力」を数値化し11月8日、発表した。人口増減率や一人当たり生産額など7つの統計指標をもとに算出。トップと最下位のポイントは2倍以上の開きがあり、格差が浮き彫りになった。統計は、ほかに人口に対する就業者比率をはじめ、財政力指数、一人あたり所得水準、有効求人倍率、全世帯数比の新規住宅着工戸数を使用。統計ごとに各市町村の偏差値を算出し、その合計をポイントとした。

朝日町は、名古屋のベッドタウンとして住宅着工が増加した理由により、2位の順位となった。

順位	市町村	(県)	ポイント
1	飛島村	(愛知)	529.4
2	朝日町	(三重)	490.8
3	豊田市	(愛知)	467.3
4	幸田町	(愛知)	459.5
26	名古屋市	(愛知)	400.5
62	静岡市	(静岡)	361.3
74	津市	(三重)	353.2
82	岐阜市	(岐阜)	346.9

# 朝日のチカラ

～各地区まちづくり協議会の紹介～

現在、朝日町内には、各地区まちづくり協議会による、地区の特色を生かした事業（下表）が行われています。

- ・ 天神山整備事業  
(縄生、朝日ヶ丘地区)
- ・ 八王子祭り振興事業  
(小向地区)
- ・ 子ども見守り事業  
(柿地区他5地区) etc



(八王子祭り振興事業)



(子ども見守り事業)

来月よりこの「朝日のチカラ」のコーナーで、各地区の状況や現在行っている事業等をご紹介します。